

| | | 建設部 | | 砂防課 | | |
|------------------------|---|---|------------|-----------------|--------------------------|---|
| 事業名 | 通常砂防事業 | | 路河川名等 | (砂)埋沢川(うずみさわがわ) | | |
| 事業毎の通番 | 1 | 市町村名 | 川上村 | 箇所名(ふりがな) | 御所平(ごしやだいら) | |
| 事業目的 | 川上村の西部に位置する埋沢川は、黒沢川へ合流し一級河川千曲川へ流入する。平成22年の異常洗掘により、値固ブロック工を施工したが、その後上部斜面の風化に伴い、不安定土砂が崩落し、堆積しており、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。また上流域も荒廃しているため、土砂災害防止のための法面対策及び砂防堰堤を施工することにより、避難所及び避難場所と、人家77戸、地域の重要な交通機関であるJR小海線の保全を図る。 | | | | | |
| しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け | 4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備) | | 事業実施の根拠法令等 | 砂防法 | | |
| 関連する事業、計画等 | なし | | | | | |
| 保全対象・範囲 受益対象・範囲 | 人家77戸、主要地方道梓山海ノ口線(村の地域防災計画における緊急輸送路)、御所平公民館(村の地域防災計画における避難所)、元御所平支部集荷場(村の地域防災計画における避難場所)JR小海線、村道 | | | | | |
| 着手年度 | 平成30年度 | 事業期間 | 7年間 | 事業費(千円) | 財源内訳(千円) | |
| 完成年度(見込み) | 平成36年度 | 費用対効果 | 9.5 | 国庫 | その他 県債 一般財源 | |
| 全体事業内容(主な工種) | 砂防堰堤工 2基 溪流保全工 | | | 500,000 | 250,000 0 225,000 25,000 | |
| 事業効果 | 直接的効果(定量的・定性的) | 人家77戸、主要地方道、村道、鉄道の保全が図られる | | | | |
| | 間接的効果(定量的・定性的) | 村の緊急輸送路である主要地方道を保全することで、災害時の輸送が確保される 避難所、避難場所を保全することで、住民の安全が確保される | | | | |
| 評価の視点 | 必要性 | 【人家戸数】:10戸以上(77戸) 【公共施設数】:2箇所以上(主要地方道、村道) 【要配慮者利用施設の有無】:無し 【避難場所、避難路の有無】:有り(避難所、避難場所、村の避難路) | | | 評価 | A |
| | 重要性 | 【過去の災害履歴】:災害履歴地隣接溪流で土石流が発生した(平成6年) 【交通遮断による地域経済への影響】:影響大 主要地方道とJR小海線は地域の重要な公共交通 【地域防災計画上の位置づけ】:位置づけあり(村の緊急輸送路) | | | 評価 | B |
| | 効率性 | 【費用便益比(B/C)】:B/C 1.5以上(9.5) 【事業期間】:7年 【工法等の比較検討】:工法検討あり 【流域の総合調整】:調整中(林務部局と調整済) | | | 評価 | A |
| | 緊急性 | 【流域の地形、地質】:地質が脆弱(火山麓扇状地) 【流域の植生】:倒木が多数 【平均河床勾配】:10°以上(8°) 【土砂整備率】:0%(既設堰堤なし) 【土砂災害防止法】:指定なし | | | 評価 | B |
| | 計画熟度 | 【事業情報の共有】:土砂法指定時に広く説明会を実施 【地域の取り組み】:協力的である(村から要望あり) 【地域の合意形成】:合意形成がなされている(地元からもハード対策の要望あり) 【住民との協働】:防災体制整備の取り組みを予定している | | | 評価 | A |
| 所管課意見 | 当該溪流の保全対象には地域防災計画に位置づけられている避難所及び避難場所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。 | | 採択状況 | 総合評価 | | |
| 技術管理室意見 | 所管課の意見を適当と認める。 | | O | A | | |

位置図

①荒廃状況

②法面工

③土砂崩落状況

全景

平面図

| 事業概要説明図表 | |
|---------------------|---|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 平成27年に発生した、斜面脚部の異常洗掘に対し、同年に根固ブロックを設置したが、斜面表土の風化が進行しており、斜面から崩壊した土砂が埋沢川を埋塞する傾向にある。斜面上部には、JR小海線があり、土砂流出と崩壊を防ぐことを目的として、事業を計画することとなった。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり | 保全対象に、避難施設、避難場所、緊急輸送路が存在し、地域の重要な交通機関である鉄道の安全確保も重要であることから、川上村から強く要望されている。 |
| ③事業説明等の経緯 | 事業実施が確定次第、地元説明会の開催を予定している。 |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連 | なし |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮 | 工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画する。 |
| ⑥地域活性化への影響と配慮 | 砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。 |
| ⑦その他 | なし |

| | |
|-------------|----------------------|
| 事業代表地点の緯度経度 | 北緯:N 35° 57' 46.36" |
| | 東経:E 138° 31' 59.86" |